

町田市のICT教育

～2021年度からの取り組みについて～

町田市では、これからの社会の変化を見据え、子どもたちに未来の社会で活躍することができる力を育成するために、ICTを活用した教育活動を進めています。そこで2021年度から、町田市立小・中学校に通うお子様に一人一台のタブレット端末※を貸与し、学校やご家庭での学習で活用しております。保護者の皆様には、ICTを活用した新たな学びについてご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※本市では、タブレット端末としてChromebook（クロームブック）を導入しております。

ICTの活用でできること・身に付く力

タブレット端末を活用した学び

タブレット端末の機能を使い、課題に対して、友達と意見を交換したり、共有したりすることが簡単にできるようになり、自分で問題解決する力が身に付きます。プレゼンテーションの資料を作成することができ、自分の考えを発信することも容易になります。



個別最適化

一人一人の理解に応じた学習問題を出題するクラウド型小中一貫学習支援ソフトを導入します。自分の力に合った問題を解き、学習の履歴をデータとして残すことで、学力を伸ばします。

情報活用

インターネットを使った情報収集とその活用が学校でも家庭でもできるようになります。



身に付く学力

問題発見・解決力

情報発信力

情報活用能力

町田市のICT教育

2021年度からの取り組みについて



<https://youtu.be/QhBYAmjg9Bo>

ICTを使った新しい学びの様子を動画で配信しております。QRコードから、ぜひご覧ください。

学校やご家庭での学び方が変わります

学校で

授業中、先生の質問に対して



手を挙げて
いるけど、
なかなか
当たらない。



みんなの前
で発表する
のは、緊張
する。



自分の意見
をいつでも
みんなに伝
えられる。
友達の考え
もよくわか
るよ。



大きな声で発
表するのは苦
手だけど、こ
れなら自分の
考え方を伝え
やすいよ。



ご家庭で



問題が難しく
て、一人では
わからない。

もっと難しい問題に
挑戦したい。



間違えても、
説明してく
れる機能があ
るから分か
りやすい。



自分に合
った問題
を宿題で
できるか
ら、学習が
楽しい。

町田第六小学校のICT活用について



個別最適化

クラウド型小中一貫学習ソフト navima を使って学習しています。全学年で夏休みの宿題としました。

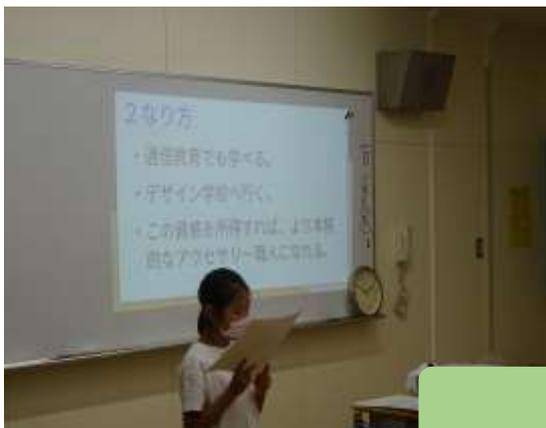


教師用算数デジタル教科書を黒板に投影して、問題や図を共有しています。



タブレット端末を活用した学び

5年生が国語の学習で重松清さんの物語を複数読んだ後、作者が伝えたいことをジャムボードという付箋に書きました。書かれた付箋を読みながら、友達と考えを共有し、同じ考えでも理由が異なったり、作品の新たな見方に気付いたりしました。ノートと違って、即時に友達のことを知ることができ、自分の考えと比べられます。それらをもとに、グループごとに話し合っ、重松清さんの作風についてまとめました。



情報活用



6年生が総合的な学習の時間に、インターネットを使って調べたいことについての情報を集めています。興味関心のある職業について、プレゼンテーションの資料を作成し、発表しました。



1年生の初めての給食指導は、1組に栄養士が来て話をする様子を撮影し、2組のスクリーンに画面を共有して、同時に話を聞いています。密を避けるために、2教室に分かれて行いました。



1年生を迎える会は Google Meet を使って、オンラインで各教室と繋がって実施。代表委員が司会役となり、じゃんけんゲームなどで盛り上がりました。